

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-Ⅲ-2

4-Ⅲ-2

章 節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	散策道の整備
	Ⅲ. 安全対策の徹底	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業(施策)名	2 散策道の整備	関連団体
	事業実施期間	H28～R2	
事業概要	【事業目的】	○見学ルートに沿った散策道の整備により、来訪者の利便性・安全性の向上を図る。	
	【事業内容】	○世界遺産包括的保存管理計画等各種計画に基づき、文化庁や専門家の指導・関連機関の協力(安全対策の工法助言)の下、来訪者の安全に配慮した散策道の整備や歩行者用の誘導サインの設置を行う。	
30 事業 計画 と 実績	【30年度計画】	●平成31年度に策定する史跡整備基本計画において、引き続き整備内容を検討する。	
	【30年度実績】	●平成31年度の史跡整備基本計画策定に向けて、西三川砂金山に関係する見学ルートの整備内容を検討した。 ●鶴子銀山に26基のサインを設置した。	
課題・今後の取組	【課題】	■構成資産が広範囲にわたるため、計画的・効果的な誘導サインの設置、散策道の整備を行う必要がある。 ■構成資産内における立入禁止区域の設定と周知(3-21)・遺跡案内表示の整備・充実(4-I-7)、解説パネル等の整備(4-II-1)・見学モデルルートの構築(4-II-5)との連携が必要である。	
	【今後の取組】	■平成30年度に引き続き、史跡整備基本計画の策定作業を進める。	
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a ● b ● c]	
	【事業実施の効果】	[a ● b ● c]	
	【総合評価】	[A ● B ● C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。